

学校教育目標	大地と共に育つ子 ～感じる・学ぶ・未来へ～ 【感じる力】 人や自然とふれあい、感じる力 (徳) 心を耕し、体を育む力 (徳)(体) 【学びに向かう力】 めあてをもち、学び続ける力 (知) 学び合い、学びを広げ、深める力 (知) 【未来を創る力】 生き方に学び、自分の生き方を見つめる力 (公) 夢や希望をもって、まちに生き、社会とつながる力 (公)(開)			
	創立 67 周年 児童生徒数: 327 人	学校長 伊藤 みつみ 主な関係校: 岡野中学校 平沼小学校	副校長 千野 正博	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	岡野中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈コミュニケーション力〉 〈協働して問題解決する力〉 〈自分づくりに関する力〉	岡野中学校 平沼小学校 浅間台小学校	自己肯定感をもち、自ら学び、社会とつながり、ともに未来を創ろうとする人 ☆確かな思考力と判断力をもたせるために必要な学力を授業で身に付けます。 ☆自分の考えを述べ、相手を納得させられるように説明できる力を身に付けさせます。 ☆ 合意形成を図る上で、折り合いが付けられた経験を多く積ませます。 ☆自分の心身の発育を意識して取り組める教育課程を編成します。 ☆ 規範意識の醸成を図られるよう学校行事や教育活動を充実させます。

中期取組目標	本校の豊かな自然環境や町の特色を活かした「三耕教育」を実践し、子どもが夢や希望をもって、なりたい自分をデザインしたり まちの一員として発信したり、社会とつながっていることを実感できる学校を目指します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく学 力 担当 B: 学力向上・研究	①未来に向かって自己実現していく子どもを目指し、子どもが主体的に学ぶ単元づくりに取り組む。 ②基礎基本を基に、自ら問題を見つけ解決する力をはぐくむため、学習や生活の中で探求心を育て解決力を身につける指導を工夫する。 ③授業や学習の環境のユニバーサル化を図り、教師間で共有することで、どの教室でも児童が落ち着いて学習に取り組めるようにする。
<b>徳</b> 豊かな心 担当 A: 総務・評価	①浅間台小マルシェの取組目標を共有して計画的に栽培活動に取り組み、児童が自然の恵みや自分を取り巻く人々へ感謝する気持ちを保護者や地域に主体的に発信できるようにする。 ②たて割り活動では、児童が自分の役割を自覚して、自分も他の人も大切な存在として行動できるようにする。
<b>体</b> 健やかな体 担当 B: 学力向上・研究 体育・食育	①一校一実践(長なわ)の年間計画をもとに、体力の向上を図る。 ②養護教諭による保健指導や学校保健委員会の取り組みを通して、児童の健康に対する意識を高める。 ③地耕の栽培活動と食育を関連付けて、食育のカリキュラムマネジメントを推進する。
<b>公開</b> 社会とつながる力 担当 A: 総務・評価	①地域の材を活用し、児童が地域とのつながりを実感できるような教育活動に取り組む。 ②路耕の時間を通して児童が活動の意味を十分理解できるように、教師と講師が連携を取りながら計画・運営をする。 ③避難訓練と連携した地域防災訓練を行い、防災教育の拡充を図る。
<b>児童指導</b> 担当 C: 人権・児童指導 特活	①年度初めに児童指導の方向性を全教職員で共有し、一貫した指導を実践する。学年を中心としたブロックでの対応を主とする ことで、経験によらず、一貫した指導を迅速に行えるようにしていく。 ②全職員で共有した児童情報(児童理解シート)をもとに、どの子どもも安心して生活できる学校づくりを目指し、個に応じて指導・支援 をしていく。 ③教科分担当制や休み時間の見守りなど、全職員で児童の健全育成に取り組んでいく。
<b>特別支援教育</b> 担当 C: 人権・児童指導 特活	①個別教室の増設に伴い、支援体制の確立とその充実を図る。特に、保護者が特別支援教育の視点から、児童や教育方針に十 分な理解がもてるよう発信していく。 ②個に応じた指導を充実させるように支援が必要な児童の共有化を図るとともに、地域療育センター等の関係機関と連携する。
<b>いじめへの対応</b> 担当 C: 人権・児童指導 特活	①「いじめ防止対策委員会」を月1回以上定期的に開催し、情報を共有する。 ②外部機関との積極的な連携を推進する。 ③低中高別にブロックサポートを配置し、いじめの未然防止、早期発見に努める。
<b>人材育成・組織運営                  (働き方改革)</b> 担当 A: 総務・評価	①教科担任制やブロックサポートなどのチーム学年経営を行い、それぞれの立場で学校教育目標に基づいた教育を行えるような人材を確 実に育てる。 ②校務分掌を改善し、問題解決に向け自ら学び、学校経営の改善に向け主体的に発信できる人材の育成を推進する。 ③働き方改革: 全体を見通した計画的な校務の執行を推進するとともに個々に指導をしていく。
<b>地域学校協働活動</b> 担当 A: 総務・評価	①地域の見守り隊による登校時の見守り活動とスクールゾーン対策協議会の通学路点検等を通し安全対策の充実を図る。 ②地域学校協働推進員(学校・地域コーディネーター)が運営する地域学校協働活動本部(つながりの坂道の会)を中心に、放課 後学び場事業や地域企業との連携を進め、児童と教職員が積極的に参加できるようにする。 ③避難訓練と連動した地域防災拠点訓練を行い、防災教育の充実を図る。
担当	